様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	オホーツク社会福祉専門学校
設置者名	学校法人　栗原学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
教育社会福祉専門課程	介護福祉科	夜・通信	250 時間	160 時間	
	こども未来学科	夜・通信	160 時間	160 時間	
医療専門課程	歯科衛生士科	夜・通信	450 時間	240 時間	
（備考）					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://www.kurihara.ac.jp/johokokai

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	オホーツク社会福祉専門学校
設置者名	学校法人　栗原学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

http://www.kurihara.ac.jp/johokokai

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	株式会社サン園芸 代表取締役社長	2023.4.　～ 2027.3.3	組織運営全般における体制チェック機能
非常勤	株式会社坂井印刷 代表取締役社長	2023.4.　～ 2027.3.3	組織運営全般における体制チェック機能
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	オホーツク社会福祉専門学校
設置者名	学校法人　栗原学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

シラバス作成過程においては教科担当講師に内容を確認してもらい、1 年間授業の見直しと新たに取り入れる内容の確認を必ず実施し、次年度のシラバス作成に取り組んでいる。

作成期間は 2 月～3 月までに行い、新年度 4 月に公表する。

授業計画書の公表方法	講師及び学生に配布し公表

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

○介護福祉科

科目履修後にシラバスに定められた評価基準に則り成績を算出する

試験などの評価は下記の通りとする。成績分布においては通年 GPA を算出。

優：80 点以上　　良：60～79 点　可：51～59 点、　不可：50 点以下

○こども未来学科

科目履修後にシラバスに定められた評価基準に則り成績を算出する

試験などの評価は下記の通りとする。成績分布においては通年 GPA を算出。

優：80 点以上　　良：60～79 点　可：51～59 点、　不可：50 点以下

○歯科衛生士科

試験は学期末、または学期末にその履修をした科目について、筆記、口述、論文、実技、履修状況により行う。

試験などの評価は下記の通りとする。成績分布においては通年 GPA を算出。

優：80 点以上　　良：70～79 点　可：60～69 点、　不可：60 点未満

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要） ○介護福祉科 科目履修後にシラバスに定められた評価基準に則り、授業科目ごとの成績を素点に応じて優・良・可・不可の４段階にて評価する。成績分布においては通年 GPA を算出。卒業の目安については可以上とする。 試験などの評価は下記の通りとする。 優：80 点以上　　良：60～79 点　　可：51～59 点、　不可：50 点以下 ○こども未来学科 科目履修後にシラバスに定められた評価基準に則り、授業科目ごとの成績を素点に応じて優・良・可・不可の４段階にて評価する。成績分布においては通年 GPA を算出。卒業の目安については可以上とする。 試験などの評価は下記の通りとする。 優：80 点以上　　良：60～79 点　　可：51～59 点、　不可：50 点以下 ○歯科衛生士科 全学生に配布済みのシラバスにて公表 試験は学期末、または学期末にその履修をした科目について、筆記、口述、論文、実技、履修状況により行う。成績分布においては通年 GPA を算出。 試験などの評価は下記の通りとする 優：80 点以上　　良：70～79 点　可：60～69 点、　不可：60 点未満	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.kurihara.ac.jp/fukusen/
４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） ○介護福祉科・歯科衛生士科 卒業時には介護福祉士、歯科衛生士の試験に相当する卒業認定試験を行う。 卒業年次において学則に沿って単位取得 ○こども未来学科 ① 各科目試験等が行われ、卒業・保育士資格取得に必要な科目が全て履修されており、その全ての科目の成績が可以上である。 上記に則り、担任・副担任・学科長等にて卒業認定会議を行い、必要科目が全て履修されていることを確認し、学校長への報告・確認を得て卒業を認定する。 ② 進級年次においても、①に準じ進級を認める。 全学生に成績表配布とともに公表	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.kurihara.ac.jp/fukusen/

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	オホーツク社会福祉専門学校
設置者名	学校法人　栗原学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.kurihara.ac.jp/johokokai
収支計算書又は損益計算書	http://www.kurihara.ac.jp/johokokai
財産目録	http://www.kurihara.ac.jp/johokokai
事業報告書	http://www.kurihara.ac.jp/johokokai
監事による監査報告（書）	http://www.kurihara.ac.jp/johokokai

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報（介護福祉科）

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
教育福祉		専門課程	介護福祉科		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	1,850 時間	８７６時間	８０５時間	４５０時間	０時間	３６時間
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
８０人	３７人	５人	４人	１４人	１８人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） シラバス作成過程において教科担当講師に内容確認を行い、授業計画案を立てて次年度に実施予定のシラバスを作成。
成績評価の基準・方法
（概要） 科目履修後にシラバスに定められた評価基準に則り成績を算出する。 試験などの評価は下記の通りとする。 優：80 点以上　　良：60～79 点　可：51～59 点、　不可：50 点以下
卒業・進級の認定基準
（概要） 出席時数が授業時数の 3 分の 2（但し、介護実習については 5 分の 4）に達しない者は、その科目において評価を受けることができない。 卒業時には介護福祉士試験に相当する卒業認定試験を行う。 進級年次は可以上を合格とし進級を認める。
学修支援等
（概要） 休んだ場合は必ず補講を実施する。習得できない科目については放課後に対応できる環境をつくり支援している。国家試験対策推進を強化している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
１７人 （100%）	０人 （　０%）	１７人 （　100　%）	０人 （　　0%）
（主な就職、業界等） 介護老人福祉施設・居宅介護支援事業所・病院			
（就職指導内容） 担任及び就職担当教員、外部講師による履歴書および面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 介護福祉士国家試験受験資格・社会人常識マナー検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
３８人	１人	２．６%
（中途退学の主な理由） 方向性の相違。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 進路等に迷いのある学生に対して個別面談		

①学科等の情報（こども未来学科）

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
教育福祉		専門課程	こども未来学科		○		－
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	１７１０時間	525時間	1,110時間	400時間	０時間	30時間
			２０６５単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
８０人	５３人	０人	４人	２５人	２９人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） シラバス作成過程において教科担当講師に内容確認を行い、授業計画案を立てて 次年度に実施予定のシラバスを作成
成績評価の基準・方法
（概要） 科目履修後にシラバスに定められた評価基準に則り成績を算出する。 試験などの評価は下記の通りとする。 優：80 点以上　　良：60～79 点　可：51～59 点、　不可：50 点以下

卒業・進級の認定基準
（概要） ① 各科目試験等が行われ、卒業・保育士資格取得に必要な科目が全て履修されており、その全ての科目の成績が可以上である。 上記に則り、担任・副担任・学科長等にて卒業認定会議を行い、必要科目が全て履修されていることを確認し、学校長への報告・確認を得て卒業を認定する。 ② 進級年次においても、①に準じ進級を認める。 全学生に成績表配布とともに公表。
学修支援等
（概要） 科目履修に際し、必要に応じ放課後対応できる環境をつくり支援している。 特にレポート作成支援・ピアノ実技対応を強化している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
３４人 （100%）	０人 （　　０%）	３４人 （100%）	０人 （　０%）
（主な就職、業界等） 保育園・幼稚園・認定こども園等			
（就職指導内容） 担任・就職担当者等による履歴書および面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 保育士・社会人常識マナー検定・発達障害児支援士・こども環境管理士２級 短期大学士・幼稚園教諭２種・社会福祉主事任用資格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
５８人	１人	1．７%
（中途退学の主な理由） 方向性の相違		
（中退防止・中退者支援のための取組） 在籍・進路等に迷いのある学生に対して保護者連絡と個別面談		

①学科等の情報（歯科衛生士科）

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
医療	専門課程	歯科衛生士科	○	－

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
３年	昼	３０８９時間	１２６ ３時間	３２３ 時間	９４５ 時間	０時間	５５８ 時間
			３０８９単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
９０人	２５人	０人	４人	４０人	４４人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） シラバス作成過程において教科担当講師に内容確認を行い、授業計画案を立てて 次年度に実施予定のシラバスを作成
成績評価の基準・方法
（概要） 試験は年次 2 回の前期定期試験、後期定期試験を実施。 採点においては、定期試験の点数のみで評価を行う 試験などの評価は下記の通りとする。 優：80 点以上　　良：70～79 点　可：60～69 点、　不可：60 点未満
卒業・進級の認定基準
（概要） 出席時数が授業時数の 3 分の 2 に達しない者は、その科目において評価を受けることができない。卒業時には歯科衛生士国家試験に相当する卒業認定試験を行う。 進級年次は可以上を合格とし進級を認める。 全学生に配布済みのシラバスにて公表
学修支援等
（概要） 休んだ場合は必ず補講を実施する。習得できない科目については放課後対応できる環境をつくり支援している。国家試験対策推進を強化している

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
１２人 （100%）	０人 （　０%）	１２人 （　１００%）	０人 （　０%）
（主な就職、業界等） 歯科医院			
（就職指導内容） 担任による履歴書および面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 歯科衛生士国家試験受験資格・社会人常識マナー検定・介護初任者研修課程 赤十字救急法救急員			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
３２人	０人	０%
（中途退学の主な理由） 方向性の相違。学業不振		
（中退防止・中退者支援のための取組） 進路等に迷いのある学生に対して保護者連絡と個別面談		

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
介 護 福 祉 科	200,000 円	590,000 円	324,000 円	施設設備費 60,000 円 実習費 170,000 円 テキスト代他 94,000 円
こども未来学科	200,000 円	590,000 円	670,000 円	施設設備費 60,000 円 教材・実習費 70,000 円 実習用衣服,テキスト代, 校具･教具他 142,000 円 豊岡短期大学 392,000 円、 豊岡短期大学に関わる 諸経費 6,000 円
歯 科 衛 生 士 科	200,000 円	590,000 円	340,000 円	施設設備費 60,000 円 実習費 60,000 円 実習用衣服,テキスト代 器材代他 220,000 円
修学支援（任意記載事項）				
栗原太郎・栗原寛隆・藤田禮三奨学金 授業料、施設設備、実習費の計を最大として貸与を行う **兄弟姉妹入学割引制度、高等学校長特別推薦制度** 入学金の半額を免除				

ｂ）学校評価

自己評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） http://www.kurihara.ac.jp		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
＜評価項目＞ 教育理念・目標、学園運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境 学生募集、財務、法令等の遵守、社会貢献等 ＜評価委員会の構成＞ 卒業生、関係業界、職能団体・専門分野の関係団体などの学校関係者 ＜評価結果の活用方法＞ 責任者　校長 評価委員会実施後に改善策を策定、短期改善策の場合、次年度より改善策を実施		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
医療法人社団 松浦歯科医院理事長	令和６年４月１日～令和８年３月 31 日(任期２年)	企業
学校カウンセリング研究会会長	令和６年４月１日～令和８年３月 31 日(任期２年)	企業
社会福祉法人恵和福祉会 介護老人保健施設緑風 理事･顧問	令和６年４月１日～令和８年３月 31 日(任期２年)	企業
学校法人北見明和学園 認定こども園北見くるみ幼稚園園長	令和６年４月１日～令和８年３月 31 日(任期２年)	関係団体

学校法人栗原学園同窓生 株式会社ベストミント代表取締役	令和６年４月１日～令和８年３月31日(任期２年)	卒業生
オホーツク社会福祉専門学校 父母協力会	令和６年４月１日～令和８年３月31日(任期２年)	父母協力会
学校関係者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） http://www.kurihara.ac.jp/wp/wp-content/uploads/hyouka_f30.pdf		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

ｃ）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） http://www.kurihara.ac.jp 資料請求

（別紙）

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H101320800050
学校名（○○大学 等）	オホーツク社会福祉専門学校
設置者名（学校法人○○学園 等）	学校法人　栗原学園

１．前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		23人	23人	23人
内訳	第Ⅰ区分	16人	14人	
	第Ⅱ区分	—	—	
	第Ⅲ区分	—	—	
	第Ⅳ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				23人
（備考）				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第４９号）第２条第１項第１号、第２号、第３号、第４号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の５割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の５割以下）	0人	0人	0人
出席率が５割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	０人	0人	0人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	—
３月以上の停学	0人
年間計	—
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

３月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

４．適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の６割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の６割以下）	0人	0人	0人
ＧＰＡ等が下位４分の１	—	0人	—
出席率が８割以下その他学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	—	0人	—
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。